

2014年度第1回都市計画サロンのご案内（中国四国支部事務局）

公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部
会員の皆様

2014年度第1回都市計画サロンを開催します。

今年4月から福島大学に赴任されている間野博先生が来広されるのを機会に、福島の復興に向けた現場の取組状況と「復興まちづくり計画」あり方について、お話を頂きます。

是非ご参加下さい。

テーマ：『震災から3年 福島の今』～原発被災地の「復興まちづくり計画」のあり方～

講 師：間野 博 氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任研究員、双葉町復興推進委員会委員長ほか）

日 時：2014年6月4日（水） 18:30～

会 場：広島工業大学広島校舎 301教室

（広島市中区中島町5-7／平和記念公園の南側・元安川沿い）

参 加：無料

主 催：公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部（企画・研究委員会）

参加申込先：山下和也 k-yamashita@chiikikb.co.jp

ご氏名、所属を上記メールアドレスまでご連絡ください。

できれば、6月2日（月）までにお申し込みいただければ幸です。

会員でない方も参加できます。当日参加も可です。

福島第一原発立地自治体の双葉町の復興推進委員会の委員長と隣の浪江町の復興推進アドバイザーをしています。それらを中心に主に避難指示区域の復興支援の仕事をしています。

原発被災地の実情については、福島に来られる人から「ほとんど報道されていない。来て初めてわかつた」という声をよく聞きます。

仕事に手一杯で余裕のない日々ですが、そろそろ、機会があれば福島以外で福島の現場報告をしていかねばならないと思うようになりました。全国の原発再稼働の動きもあるので尚更です。

そこで、6/4（水）午前に広島市団地研究会があり、翌日名古屋の予定で、6/4（水）の午後から晩にかけて時間が空いているので、広島の皆さんに福島の現場報告をする場を設けていただけないかという打診です。

特に、現在ぶつかっている壁は、避難指示区域における「復興まちづくり計画」のあり方です。避難住民の帰還の重要な判断材料になる計画なので、非常にシビアです。これまで作ってきたまちづくり計画の中では、阪神淡路の復興まちづくり計画が一番シビアでしたが、それをはるかに上回るシビアさです。

「まちづくり計画」とは何か、何のために、何を決めるか、根本を問われています。このあたりにも触れたいと思っています。